



## たなばたまつり

7月7日は七夕です。人日(正月)、上巳(桃の節句)、端午、七夕、重陽(菊の節句)は、昔から五節句といわれ、それぞれにちなんだお話や行事があります。

七夕は星まつりで、天の川をはさんで東西に位置するアルタイ星とベガ星をけん牛(ひこ星)、織姫(織姫星)と呼んでいます。この二人は仲が良すぎて仕事をしなくなったため、天の神の怒りに触れ、別れ別れになってしまったのです。しかし、それから二人は懸命に働き、一年に一度、7月7日カササギの橋の上で会うことが許されたと伝えられています。

～ 「なるほど 行事ブック」参照～



## お願い

日が長くなってきたとともに、夕方お迎えの後に、園庭でお子さんを遊ばせている方が多く見られます。子どもたちは、できるようになった鉄棒や登り棒など保護者に見てもらい、親子で楽しそうなのですが、路上駐車している車が、ご近所の方々に迷惑をおかけしているようです。

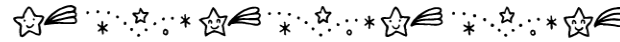
先月もお願いしましたが、どうかご理解していただき、速やかにご帰宅いただきますよう、お願いします。



## 平成 30 年 7 月の園だより



### 絵の中の子どもの思い



6月18日は、幼児部の子どもたちがとても楽しみにしていたプール開きでした。でも朝から小雨がばらついたり、晴れ間が見えたり、黒い雲が広がったりと不安定でしたが、少しだけプールに水をためて入りました。入る前に、プールはとっても楽しいけれど、先生のお話をしっかり聞かなくては、たった一つしかないみんなの大切な命がなくなってしまうことを話すと、どの子どもも真剣な表情で聞いてくれました。楽しい夏のあそびですが、危険と隣り合わせであることを職員間で周知しながら、楽しくすすめていきたいと思えます。

泥んこや水あそびなど外あそびをしっかりと充実させながらも室内でのあそびの環境にも力を入れています。特にパスや絵の具あそびはどの年齢の子どもたちも大好きで、毎日あそびのコーナーの一角に設置してあります。そんな中、年少クラスの担任が、「なぐり描きをしっかりと楽しんだ絵を飾っていると、たいていの保護者は、「何を描いたの?」って聞いている。子どもは、とっさに「おばけ」とか「かいじゅう」と言ってごまかしている。描いているときは、そんなことは一言もなく、「青が大好き。」とか、「車でぶーっておばあちゃんのお家に入った。」などと言いながら、生き生きした表情でさまざまな線を描いているのに…。形ではなくて、楽しく描いていることの大切さを伝えたい。」とつぶやいていました。出来上がった結果ではなく、その過程を伝えることの必要性を感じているのです。なんて素敵な思いなのでしょう。その思いを私も保護者の皆さんに伝えたいと思えます。

すいこうでは、まず、絵を描くというより、パスやコンテ、絵の具などさまざまな素材を使って遊ぶという感覚で表現活動に取り組んでいます。そして、出来上がった作品を評価するのではなく、描いているときの表情やつぶやきを受け止め、描きたいという気持ちを大切にしています。そういう気持ちで描いている子どもは、たとえ、はっきりとした形になっていなくても楽しそうに、生き生

きと描き、「先生、あのね、あのね…」とその絵に込めた思いを一生懸命、話してくれませぬ。担任は、一人ひとりの描いている作品に、「この色は、〇〇ちゃんしか使っていない色だね。きれいだね。」とか「この線は、とっても力強く描けていて先生は好きだな。」などと、すべての絵を違う言葉で認め、褒めています。子どもたちはみんな笑顔になり、満足そうにしています。そんな日は、きっと帰りながら「今日はね、…」とおうちの方にも楽しそうに話していることでしょう。

でも、中には、描きたくない子どももいます。例えば、「叱られて登園した」など、心の中に寂しさやむなしさがあるときは、なかなか描けません。そんなときは無理に描かせようとせず、お話をしっかり聞いてあげます。今、描かなくても、描きたくるまで待つてあげることも必要なことです。

大人は、つつい形になっていると分かりやすく、そこを褒めてしまいがちです。もちろん描くことが大好きで、何日もかけて、仕上げた絵もあり、それはしっかりと認めてあげなくてはなりません、他のこどもの作品と比べたり、「何を描いてるかわからない」など傷つけるつもりはなくても、何気につぶやかれた大好きな大人の言葉には、とても敏感で子どもの心は傷ついていることもあるのです。

子どもの絵は、心の鏡です。楽しく描くことが大切です。子どもたちのつぶやきにしっかりと耳を傾け、自分の心をありのままに表現できるよう関わっていきたくと思っています。保護者の皆さんも、お子さんの描いた世界に一枚しかない絵のすてきなところを見つけて、楽しんでいただければと思います。

7月は、乳児部でもプールが始まり、また、1号認定のお子さんは、夏休みに入ります。暑い夏を元気に楽しく過ごしましょう。保護者の皆さんは、お疲れとは思いますが、子どもたちのつぶやきに耳を傾け、楽しさを共感していただけたら幸いです。

園長

### 納涼会(夏祭り)

保護者の皆さん、地域の方々と交流し、親睦を深めながら、夜店や盆踊りなどをみんなで楽しみましょう。

狭い園庭ではありますが、ご家族揃いで、楽しい夏の夜のひと時をお過ごしいただければと思っております。



### 保護者の皆さんへ メッセージ

**今できなくたって 大丈夫  
一步一步  
ゆっくり ゆっくりで…**

つい、他の子と比べてしまう。つい、早くできるようになってほしいと願ってしまう。でも、みんな一人ひとりの歩調があり、一人ひとり、ペースが違うのです。一步一步、一つずつ…。

ほら、思い出してみてください。少し前にできなかったことで、今、ちゃんとできるようになったことが、一つ二つ…増えていませんか。

今、できなくたって大丈夫。一步一步、ゆっくりで…

全国私立保育園連盟  
子育てメッセージ

